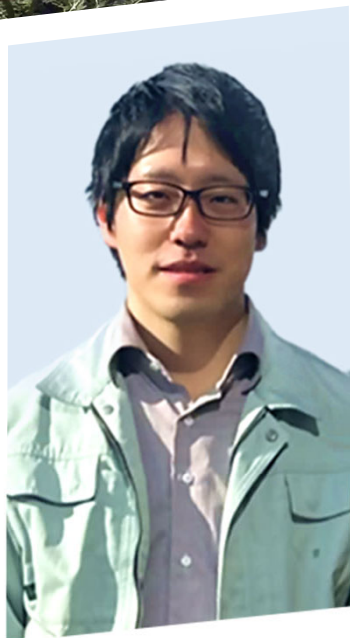




KANAGAWA

神奈川県

農業土木職 採用案内2025



未来の食を支える。それが、私たちの使命です。
～都市農業の持続的発展を支える「かながわの^み水^ど土^り里」に取り組んでいます～



^み
水

農地に水を届ける
農業水利施設の整備



^ど
土

生産性を向上させる
農業生産基盤の整備



^り
里

農業の多面的機能への
理解を広める取組

農業土木職は、「水」・「土」・「里」の取り組みを通じて、農業生産基盤の整備を推進するとともに、農業農村の有する多面的機能の維持・発揮を促進し、「生産性の向上と担い手の育成・確保」、「新鮮で安全・安心な魅力ある農畜産物の利用拡大」、「環境に配慮した農業の推進と生産環境の保全」の実現を支えています。

かながわの水^み

～持続可能な農業用水の安定供給～

- 農業水利施設の強靱化対策
(長寿命化対策・耐震化対策)
- 土地改良区の体制強化

かながわの土^ど

～農業生産基盤の整備と農地集積の促進及び農地の有効活用～

- 今後の地域農業を見据えた農業生産基盤の整備の推進
- 農業者や生産を振興する農作物などを見据えたほ場整備の推進
- 担い手への農地の集積・集約に向けた簡易な農業生産基盤の整備の推進
- スマート農業や企業参入等の担い手の要望に対応した生産基盤の整備の推進
- 農産物の輸送の効率化を図るための農道整備の推進

かながわの里^り

～農業の有する多面的機能の恵みを身近に享受できる取組を推進～

- 農業の生産活動を維持向上させる地域ぐるみの共同活動への支援
- 地域資源を生かした中山間地域の振興
- 農地等の活用・保全
- 農業の有する多面的機能等への県民の理解促進

「かながわの水^み土^ど里^り」による気候変動対策

- 水防災戦略（流域治水）に対応した農業生産基盤の整備
- 農地・農業用施設の災害復旧及び支援
- 農業水利施設等への再生可能エネルギーの導入整備
- インフラ長寿命化計画に基づく対策の推進



◀「かながわの農業農村整備（事業概要パンフレット）」はこちら

2 業務内容の紹介

土木にとどまらない農業土木の仕事を紹介します

01 農業農村整備事業

農業農村整備に関する事業の計画から、調査設計、工事実施、維持管理まですべてのプロセスに携わります。

主な農業農村整備事業の紹介



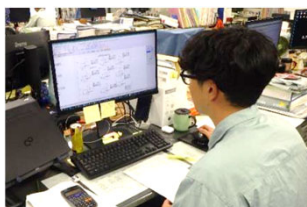
ほ場整備事業（点在している農地の集団化）



農道整備事業（広域農道の新規開設）



湛水防除事業（豪雨時の湛水被害の発生を防止）



設計・積算・発注事務



施工状況の把握・受注者との協議



現場立ち合いによる確認



完成検査の実施

02 農地の有効利用の促進

県民や企業を多様な担い手の一つとして位置づけ、耕作放棄地の有効利用などに取り組みます。また、農地に関する法令に基づく事務も行います。



現地の土地利用や状況の確認



各種関連法令の事務等

03 地域住民主体の活動を支援

里地里山や農地・農業用水等の農業資源を保全する地域ぐるみの活動を支援するなど、都市と共存する農業の推進に関わります。



里地里山の大切さについての広報活動

04 県民への理解促進

県民の方に、農業及び農地の持つ生産機能や多面的機能、これらを支える水路や農道などの重要性を伝えるイベント等を企画し、実施します。



農業農村理解促進活動の実施（保育園での農育）

3 農業土木職員の紹介

先輩職員からのメッセージ

01 長谷川 技師



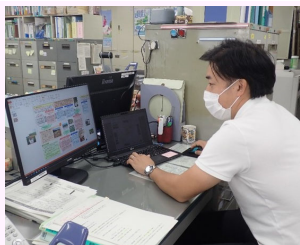
現在は、老朽化した水路の改修工事等の設計積算業務を行っています。目に見える形で現場が動いていき、初めて担当した工事で完成形を見たときは非常にやりがいを感じました。また、工事だけでなく、保育園でバケツ稲の出前授業を実施する広報活動に関する業務も担当しています。動いている工事現場を間近でみることや子供に教える機会等は初めてだったので、全てのことが新鮮で日々刺激を受けています。

02 向井 技師

現在、農地の集積を見据えたほ場の大区画化と併せて、ICT技術を活用した水管理の自動化をモデル的に進めるため、産官学連携による実証事業に携わっています。ほ場にスマートフォンなどで遠隔操作や自動制御が可能な通信機能付きの自動給水栓を試験的に設置することで、本県における田んぼの水管理がどれくらい省力化できるか検証を進めています。効率的で持続可能な農業環境づくりに貢献できることに強いやりがいを感じています。



03 吉田 主査



現在、農業農村整備事業の計画の企画立案・調整を担当しています。計画の仕事は、地元に行って要望を聞き、それを事業化することが主ですが、整備や整備後の利用までを見越して計画を立てることが重要であり、そこには農業土木の知識や技術が必要になります。さらに、農地政策の立案にも従事するため、今後の神奈川県での農業の方向性を決めるような大きなプロジェクトに携われることにやりがいを感じます。

04 林 副技幹

現在は、ほ場整備事業に土地改良区の設立や換地処分、水路施設の譲渡などの総合調整を行う立場で携わっています。利害関係者や各機関との調整、区画整理工事の実施は苦勞を伴うこともあります。しかし、小さく不整形な田んぼ、狭小な道路が整備され、そこで田植え、収穫の様子を見ると、農家から感謝の言葉をいただいたときに地域の役に立っているというやりがいを感じることができます。



05 川上 副技幹



水路や取水堰の改修工事が終わり、田植えが始まると農産物を県民のみなさんに供給する基礎の部分に関わることができたと感じます。本県は都市化が進み、農地も減少してきていますが、一方で「農地が身近にある生活がいい」との意見を多く聞きます。農地は農産物の生産の場だけではなく、生き物の生息場や人々にやすらぎを与えてくれる場所でもありますので、多くの農地を次世代に残していきたいと思っています。

農業土木職の採用実績

茨城大学、岩手大学、宇都宮大学、北里大学、信州大学、千葉大学、筑波大学、東京農業大学、東京農工大学、鳥取大学、新潟大学、日本大学、明治大学、山形大学

4 ワークスタイル

働きやすさを支える制度

プライベートの充実

- ・ 年次休暇や夏季休暇等の休暇制度があり、取得を推進しています。
- ・ 拡大時差出勤制度を利用し、終業後の時間を有効に活用できます。
- ・ モバイルパソコンが1人1台配備され、テレワークが行いやすい環境です。



家庭と仕事の両立

- ・ 育児休暇や部分休業を利用し、業務時間を短縮して育児に充てることができます。
- ・ 子の看護休暇や育児参加休暇が利用できるなど、家庭の緊急事態に対するサポートも対応できます。



5 研修制度の充実

農業土木に関する知識がない方でも、安心して業務に取り組めるように、充実した研修制度を整えています。



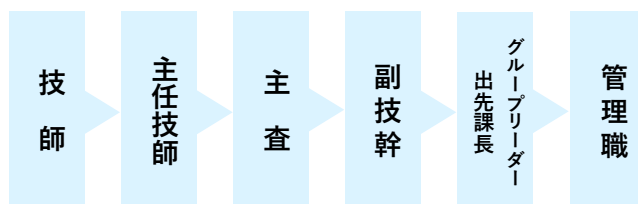
農業水利研修会



測量技術研修会

6 異動・昇任

本庁及び出先事務所に配属され、3年程度のサイクルで異動し農業農村整備に関する様々な知識や農業土木技術を習得します。



7 農業土木職員の主な勤務地

神奈川県内の多彩なフィールドで活躍中



かながわ農業農村整備のマスコットガール
「とっちーちゃん」



- ★ 神奈川県庁
- ① 横浜川崎地区農政事務所
- ② 横須賀三浦地域県政総合センター
- ③ 県央地域県政総合センター
- ④ 湘南地域県政総合センター
- ⑤ 県西地域県政総合センター（小田原合同庁舎）
- ⑥ 県西地域県政総合センター（足柄上合同庁舎）

8 採用試験情報

面接時に**農業土木への熱意**をアピールして下さい

以下の試験に合格後、数名が農業土木職へ配置されます。

【早期Ⅰ種 建設技術（土木）】

募集期間 3月3日（月）～3月17日（月）※終了

【Ⅰ種 総合土木】

募集期間 4月11日（金）～5月7日（水）※終了

【秋季Ⅰ種 総合土木】

募集期間 8月29日（金）～9月12日（金）

【経験者採用 農政技術（農業土木）】

募集期間 6月13日（金）～7月25日（金）

※1 秋Ⅰ種は、令和9年度採用予定者として、大学3年生も受験できます
※2 経験者採用は、農業土木単独で行います。

神奈川県
職員採用HP
はこちら



<https://www.pref.kanagawa.jp/osirase/9111/index.html>



採用試験情報
はこちら

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/s3u/saiyou/saiyoujyuhou.html>



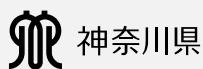
神奈川県庁の土木職を目指すあなたへ
～未来をつくる～



「若手職員による仕事紹介動画（かなちゃんTV）」

※ 1分33秒からが農業土木職の紹介となります

<https://www.youtube.com/watch?v=akQ0JM8Bqal>



環境農政局 農水産部 農地課（担当者：岸田）
神奈川県横浜市中区日本大通1（〒231-8588）

E-mail: kishida.6cqa@pref.kanagawa.lg.jp

TEL: 045-210-44685（直通）

農地課HP
はこちら

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/n8f/index.html>

